

第 24 回国際色素細胞学会  
The 24th International Pigment Cell Conference  
(IPCC2020)

募金趣意書

## 第 24 回国際色素細胞学会への寄付のお願い

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本教室へ格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、来る 2020 年 6 月 18 日（木）～21 日（日）の 4 日間に亘り、第 24 回国際色素細胞学会（The 24th International Pigment Cell Conference: IPCC2020）を山形テルサ（山形市）において開催させて頂くことになりました。IPCC2020 は、国際色素細胞学会連合が 3 年ごとに開催する国際学会で、1946 年の第 1 回大会（米国、ニューヨーク）から当会議で 24 回を迎える色素細胞及びメラニン研究の分野で最も歴史のある国際会議であります。日本での開催は、第 20 回（2008 年、札幌開催）以来、12 年振り、4 回目となります。

本会では、大会テーマを“Advancing melanocyte science and friendship in the Land of the Rising Sun”とし、学会テーマを反映するような魅力ある講演を企画しております。世界約 25 か国から約 550 人以上の参加者が予想され、国際色豊かな研究発表と討論が行われることとなります。

本教室は 2007 年に私が着任以来、諸先生方にご指導いただきながら、皆様とともに山形における皮膚科医療を支えてまいりました。その教室としての歩みは牛歩のごとくではありましたが、今回、伝統ある国際学会を山形の地で開催できることには、私個人としては非常に感慨深いものがあります。ぜひとも学会開催を成功させ、Yamagata ならびに本教室の存在を世界にアピールしたいと強い決意を持っております。

本来、学術集会の運営は参加費収入等で賄うべきものであり、事務局も経費削減等の努力を重ねていく所存ですが、諸般の事情等により参加費や企業からの収入のみでは充当が困難な状況であります。つきましては諸事ご多端の折、誠に恐縮ではございますが、事情ご賢察の上、何卒、皆様からの格別なるご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

第 24 回国際色素細胞学会（IPCC2020）組織委員会  
委員長 鈴木 民夫

## 会議の概要

### 1. 会議の名称とテーマ

- 1) 会議の名称  
第24回国際色素細胞学会  
The 24<sup>th</sup> International Pigment Cell Conference (IPCC2020)
- 2) 会議のテーマ  
“Advancing melanocyte science and friendship in the Land of the Rising Sun”

### 2. 主催・併催機関などの名称

- 1) 主催  
会長 鈴木 民夫 (山形大学医学部皮膚科学講座教授)  
事務局 山形大学医学部皮膚科学講座  
事務局長 林 昌浩  
〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2  
TEL. 023-628-5361 | FAX. 023-628-5364
- 2) 協力  
独立行政法人国際観光振興機構

### 3. 開催期間

2020年6月18日(木) — 6月21日(日) (本会議4日間)

### 4. 開催場所

山形テルサ  
〒990-0828 山形県山形市双葉町一丁目2番3号  
電話：023-646-6677

### 5. 主催責任者

#### 第24回国際色素細胞学会組織委員会

理事	船坂 陽子	日本医科大学医学部皮膚科学
	大沢 匡毅	岐阜大学大学院医学系研究科再生工学講座生命機能分子設計分野
	安藤 秀哉	岡山理科大学工学部バイオ・応用化学科
	市橋 正光	アーツ銀座クリニック
	伊藤 祥輔	藤田医科大学医療科学部化学教室
	宇原 久	札幌医科大学医学部皮膚科学
	大磯 直毅	近畿大学医学部皮膚科学
	岡 昌宏	北播磨総合医療センター皮膚科
	國貞 隆弘	岐阜大学大学院医学系研究科組織・器官形成分野
	鈴木 民夫	山形大学医学部皮膚科学
	種村 篤	大阪大学大学院医学系研究科内科系臨床医学専攻情報統合医学皮膚科学
	塚本 克彦	山梨県立中央病院皮膚科

	錦織千佳子	神戸大学大学院医学研究科内科系講座皮膚科学分野
	八谷 輝	花王株式会社 生物科学研究所
	深井 和吉	大阪市立総合医療センター皮膚科
	藤田 英明	長崎国際大学薬学部薬学科機能形態学研究室
	古村 南夫	福岡歯科大学総合医学講座皮膚科学分野
	山崎 研志	東北大学大学院医学系神経・感覚器病態学皮膚科学講座
	若松 一雅	藤田医科大学医療科学部化学教室
監事	仁木 洋子	日本精化株式会社 化粧品事業本部化粧品研究開発部
	肥田 時征	札幌医科大学医学部皮膚科学講座
顧問	片山一朗	大阪市立大学 大学院特任教授
	中川 秀己	あたご皮フ科
事務局	山形大学医学部皮膚科学講座	
	事務局長 林 昌浩	
	〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2	
	TEL. 023-628-5361   FAX. 023-628-5364	

## 6. 日本開催の経緯

国際色素細胞学会（IPCC）は、色素細胞・メラニンに関わる研究、色素細胞が関連する疾患の病態解明および新規治療を推進するための国際連絡機関である色素細胞学会国際連合（IFPCS）の公式学術大会である。1946年に米国ニューヨークで第1回 IPCC が開催されて以来、3年に1度、欧州・米国・日本・アジアの各国・地域の色素細胞学会が交互に開催している権威ある学会で、色素細胞・メラニンに関する研究成果の発表および研究者間の交流を図り、世界の色素細胞研究の発展に寄与する中核的役割を果たしています。

2020年は第24回目に当たり、先天性眼皮膚白皮症、色素異常症の世界的権威である山形大学医学部皮膚科教授の鈴木民夫博士のもとで開催されます。

なお、この会議の開催状況は、以下の通りです。

開催年	開催地	参加国数	参加者数	日本人参加者
2008年（第20回）	札幌（日本）	30	450	200
2011年（第21回）	ボルドー（フランス）	30	450	80
2014年（第22回）	シンガポール	30	450	80
2017年（第23回）	デンバー（米国）	30	500	150

## 7. 日本開催の目的と意義

色素細胞・メラニン研究の発展に日本人・は多大な貢献をしてきており、そのため欧州・米国・日本・アジアの各学会が3年に1度、交互に開催し、色素細胞・メラニンに関する研究成果の発表および研究者間の交流に寄与してきた。

本会議の目的は、色素細胞・メラニンの基礎研究、色素異常症、悪性黒色腫の研究・診療に携わる研究者・医師・企業を国際的な規模で一堂に集め、学術研究に関し発表、討論し、意見や情報を交換することにより研究者相互の、あるいは企業間の交流を深め、結果として技術交流の端緒となる場を提供すると共に、研究・診療をさらに発展させるためのものである。

近年では、色素細胞の悪性腫瘍である悪性黒色腫に対する新規治療・薬物が本邦から開発されるなど、日本初のブレイクスルーが次々に生まれている。このような環境の中、わが国で IPCC を開催することは、我が国の色素細胞・メラニン研究の成果を広く発信し、研究者間の交流を促進することは、色素細胞・メラニン研究のますますの発展、活性化に寄与するものと思われる。

## 8. 開催計画の概要

### 1) 会議日程

6月18日(木)	開会式
午後	講演、招待講演、ポスター展示・ディスカッション ウェルカムパーティー
6月19日(金)	午前 講演、ポスター展示・ディスカッション
午後	講演、ポスター展示・ディスカッション
6月20日(土)	午前 講演、ポスター展示・ディスカッション
午後	講演、ポスター展示・ディスカッション
	招待講演
夜	ガラディナー
6月21日(日)	午前 講演、ポスター展示・ディスカッション
午後	閉会式

### 2) 主要トピックス

学会テーマ ‘Advancing melanocyte science and friendship in the Land of the Rising Sun ‘

### 3) 参加予定者

国内	370名
海外	180名
合計	550名

### 4) 参加予定国 22ヶ国・地域

アメリカ、カナダ、日本、台湾、中国、韓国、インド、オーストラリア、シンガポール、スペイン、イギリス、フランス、イタリア、ベルギー、ノルウェー、アイスランド、ドイツ、セルビア、スイス、タイ、オランダ、ミャンマー

### 5) 会議使用言語

英語

## 9. 寄附金を必要とする理由

第24回国際色素細胞学会は海外から180名、国内370名、計550名の参加が予定され、準備運営等に関する総経費は56,348,000円が見込まれています。これらの諸経費は、本来参加登録費等でまかなうことが建て前ではありますが、諸般の事情により総額56,348,000円から、参加費等自己負担額21,000,000円、補助金等2,000,000円、広告掲載費2,588,000円、展示会費2,160,000円、セミナー共催費21,060,000円を除く不足額、7,540,000円を諸企業及び諸団体からのご援助に頼らざるを得ないのが現状です。従いまして、下記の費用を会議に協賛する関係企業等からの寄附金にて充たしたいと存じます。

## 10. 収支予算

単位：千円

収支区分	金額
(収入)	
1. 自己負担金（参加登録費等）	21,000
2. 諸収入等（展示会、広告掲載費等）	25,808
3. 補助金／助成金等	2,000
4. 寄附金等	7,540
収入合計	56,348
(支出)	
1. 会議準備費	18,600
2. 会議運営費	34,810
3. 展示会・企業セミナー等	378
4. 募金経費	700
5. 事後処理費	1,860
支出合計	56,348

### 11. 寄附金募集要項

#### (1) 募金の名称

第24回国際色素細胞学会（IPCC2020）寄附金

#### (2) 募金の目標額

7,540,000円

#### (3) 募金期間

2019年1月10日～2020年6月17日

（注：会議開催日前の銀行営業日まで）

#### (4) 寄附金の使途

第24回国際色素細胞学会の準備並びに運営に関する費用に充当します。

#### (5) 寄附金申込先

独立行政法人国際観光振興機構 MICE プロモーション部交付金担当

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-1 細井ビル4階

電話：03-6691-4852 ファックス：03-6856-1330

#### (6) 寄附金振込方法

別紙のフローチャート通りとなります。

別紙申込書を国際観光振興機構にお送りください。

寄附金申込書を受領し確認次第、国際観光振興機構より寄附金申込受理書を送付いたします。寄附金申込書受理書を受領後、指定口座番号にお振込ください。

#### (7) 税法上の扱い

この寄附金は、特定公益増進法人である独立行政法人国際観光振興機構への寄附金として、税法上の一般寄附金とは別途に損金算入等の優遇措置が講ぜられます。